

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-3 農林水産業の担い手の育成・確保
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 前島和弘	電話番号	0855-22-5167
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	林業担い手育成確保対策事業		
目的	(1) 対象	林業就業希望者、林業従事者及び森林組合等の林業事業者	
	(2) 意図	県総合戦略や農山漁村活性化計画第3期戦略プランに掲げる循環型林業を推進するための原木増産や再造林を拡大するため、新規林業就業者を確保し、スキルアップや就労条件の改善、労働災害防止等により林業従事者の定着を図る。	
事業概要	循環型林業を推進するための原木増産や再造林を拡大するためには、新規林業就業者の確保や林業従事者のスキルアップと定着を図る必要がある。このため、林業労働力確保支援センター（林業公社内）等と連携し、就業希望者向けの林業現場体験会やガイダンスにより林業の魅力やPRするとともに、高性能林業機械のOJT研修による新たなオペレーターの確保や林業事業者への経営改善指導等の実施により就労条件の改善などを行う。 また、高度な林業架線作業技術者の養成や、林業就業促進資金の貸付、農林大学校林業科の学生に対する緑の青年準備給付金の給付を行う。さらに林災防島根県支部と連携し労働災害の防止対策なども行う。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	林業就業者数	目標値	884.0	913.0	942.0	971.0	1,000.0	人
	式・定義	林業就業者の状況調査の林業就業者数	取組目標値						
				実績値	926.0	933.0			
				達成率	104.8	102.2	-	-	%
2	指標名	新規林業就業者数	目標値	70.0	140.0	210.0	280.0	350.0	人
	式・定義	林業就業者の状況調査の新規林業就業者数（H27～H31の累計値）	取組目標値						
				実績値	125.0	196.0			
				達成率	178.6	140.0	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	46,033	55,690
うち一般財源 (千円)	26,781	22,073

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>林業就業者数、新規林業就業者数とも目標以上を確保している。</li> <li>平成28年度からは、地方創生の一環として、「森林の仕事」就業促進事業（新規雇用確保）、高性能林業機械OJT研修促進事業（新規技術者養成）、林業担い手魅力向上対策事業（事業者経営改善）を新た実施し対策を強化している。</li> <li>農林大学校の林業科学生を対象とした緑の青年就業準備給付金は、将来林業就業を希望する学生14人に対し給付を行っている。また、しまねの林業支援寄付金活用事業により実習用高性能林業機械が同校に導入された。</li> <li>林業労働災害については休業4日以上の死傷者数がH28年度に46人発生している。</li> </ul>
--

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>林業就業者数が933人に増加した。</li> <li>新規林業就業者を新たに71人確保した。</li> <li>高性能林業機械OJT研修により24名のオペレーターが確保された。</li> <li>H26対比で、11林業事業者の費金が平均で26,500円上昇した。</li> <li>農林大学校の3月卒業生5名が県内の林業事業体に就職した。</li> <li>農林大学校に実習用高性能林業機械が1台導入され、就業前の操作訓練が可能になった。</li> <li>林業労働災害の死傷者数はH27対比で7名減少した。</li> </ul>
--

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林業事業者は現場作業員を増員したいが、求人しても応募が少なくなってきた。</li> <li>現場作業員の確保ができないと、県総合戦略等で掲げる原木増産や再造林に支障を来すことになる。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>景気の緩やかな回復基調により、有効求人倍率が上昇傾向で、売り手市場になっている。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規林業者の確保については、高校生やUターン者等への一層のPRやガイダンスが必要。</li> <li>林業就業者の育成・定着については、処遇改善や新規就業者に対する高性能林業機械の操作技術習得等が必要。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略等に掲げる原木増産や再造林による循環型林業を一層推進するため、新規林業就業者を毎年70人程度確保し、林業就業者の1,000人の確保を目指す。</li> <li>そのためには、総合的な林業の担い手の育成・確保対策が必要であり、林業労働力支援センター等と連携し、①「森林の仕事」就業促進事業（新規雇用確保）②高性能林業機械OJT研修促進事業（新規オペレーター養成）③林業担い手魅力向上対策事業（事業者経営改善）④林業就業促進資金⑤緑の青年就業給付金事業等を引き続き実施していく。</li> </ul>
---